



インターハイ2連覇だけでなく、金鷲旗高校柔道大会団体戦の優勝など、これまで数々の栄光を勝ち取ってきた。

写真は新井さんが柔道を始めた栄武館新井道場(東大久保)にて撮影

# 今月のFujimist 新井 道大 さん(柔道)

☎ 秘書広報課 ☎049-256-9535

日本の柔道家が持つ技の「キレ」。それは筋力ともスピードとも言い換えることはできず、どんなに体格差があろうとも魔法のように相手を投げ飛ばしてしまう。埼玉栄高等学校柔道部3年生の新井さんは、その極意を求めて何千回、何万回とひたすら打ち込み稽古に励んできた、技の「キレ」の求道者だ。

祖父が開いた栄武館新井道場に通り始めたのは勝瀬小学校1年生のころ。「祖父の家でアイスが食べられるから」という理由で始めた柔道だったが、中学校進学前に埼玉栄中学校柔道部の練習を見学したとき、その強さや精神性を目の当たりにし、真剣に柔らの道に突き進むことを決心。稽古に稽古を重ね、高校2年生で全国高等学校総合体育大会(インターハイ)柔道競技100kg級を制覇した。

身長187cm体重100kg。強靱な肉体を持つものの、決してメンタルが強い方ではなく、今年春の全国高等学校柔道

選手権大会団体戦で73kg級の選手に1本負けを喫したときは「こんなに努力しているのに勝てない」と思い悩んでスランプに陥り、柔道を辞めようと思っただこともある。

復調のきっかけは、仲間たちの励ましと両親からの「これまで積み重ねてきたものは間違っていない。また一から最強の新井道大をつくろう」という一言。以降、頭からつま先までの動作一つひとつに意識を張り巡らせるように打ち込み稽古にいそしんだ。そして、満を持して臨んだ8月に開催されたインターハイで悲願の2連覇を果たした。

同月、ボスニア・ヘルツェゴビナで行われた世界カデ柔道選手権大会に普段より重い重量級の日本代表として出場し、銅メダルを獲得した。幼い頃から思い描いてきたオリンピックで金メダル獲得の夢を叶えるため、さらにその技の「キレ」に磨きをかけていく。栄光をその手につかむその日まで、「最強の新井道大」を目指す物語は続いていく。

広報「富士見」は、市内の公共施設や駅などにも置いてあります。声の広報「富士見」(音声DAISYプレイヤー)版は市内図書館で貸し出しています(市ホームページで聴くこともできます)。



市公式ホームページ

SNS

【カタログポケット】広報「富士見」を多言語で

【マイクロ】広報「富士見」をスマートフォンで

【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴

人口と世帯数(9月1日現在)  
 人口…112,919人(前月比 -36人)  
 (男 55,405人 女 57,514人)  
 世帯数…54,353世帯(前月比 +28世帯)

3 すべての人に健康と福祉を

12 つくる責任 つかう責任

15 陸の豊かさも守ろう

富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。